

1. 事業目標達成状況の評価年月日	平成28年6月30日	最終更新:平成29年3月13日			
2. 地区名	珠洲地区				
3. 評価者	珠洲市				
4. 事業目標達成状況の評価	(上段):計画 下段:実績				
事業目標	指標	事業前	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	地域の風土を活かした適地作物の栽培面積(a)		(0)	(30)	(50)
		0	0	27	63
	農地の保全・活用に参加する都市住民の人数(人)		(20)	(25)	(30)
		20	20	41	41
モデル農地での栽培作物による商品開発数(件)		(0)	(1)	(1)	
		0	0	4	4
本交付金の評価	平成26年度	農村資源保全推進対策	棚田集落での「ふるさと談話会」の開催と「かわら版」配布、地域資源調査、遊休農地の土壌分析、集落でのイベント、見学・体験受入を行うとともに、東京都内での棚田米等の販売促進活動、珠洲市内の食イベントへの出店を実施した。また、珠洲市内の世界農業遺産の構成資産(祭礼、製塩技術等)を調査・整理した。集落でのイベントがテレビ(NHK)にも紹介されるなど、棚田集落のPR効果が現れている。		
	平成27年度	農村資源保全推進対策	平成26年度に引き続き、棚田集落での「ふるさと談話会」の開催と「かわら版」配布を行い、地域資源マップと集落の活動計画を作成した。また、遊休農地を活用した作物の試験栽培と成分分析、収穫した作物を利用した商品の試作を実施した。さらに、集落でのイベント、東京都内での棚田米等の販売、珠洲市内の食のイベントへ出店を実施し、棚田集落のPR資料を作成した。集落での遊休農地活用やイベントが新聞(地方紙)やテレビ(民放)にも紹介されるなど、棚田集落のPR効果が現れている。		
事業全体の評価	全体総評	<p>「農地の保全・活用に参加する都市住民の人数」及び「モデル農地での栽培作物による商品開発数」については平成27年に目標を達成した。</p> <p>「地域の風土を活かした適地作物の栽培面積」の拡大については、計画に基づき平成27年度に遊休農地を活用した作物栽培に着手し、大納言小豆、かぼちゃ及び北山菜を試験栽培したが、初めての試みでもあり対象農地を1集落に絞ったため、平成27年度末時点では目標をわずかに下回る結果となった。しかし、平成28年度には、平成27年度に取り組んでいる集落の隣接集落にも取組が波及し、能登大納言小豆の栽培面積が増加し、目標を達成した。</p>			

## 活動状況写真

### ・吉ヶ池 冬の小さな運動会(雪深さを活かした新たなイベント)



### ・パンフレット



### ・地域資源マップ



### ・かわら版



### ・活動計画

